

令和2年度 学校評価（教職員）

令和3年3月24日

学校運営・教育活動・組織運営・教育環境・保護者や地域との連携について、15の項目に精選し学校評価を実施した。教職員の評価結果から本校の課題を明らかにし、今後の教育活動の見直しと、生徒がよりよい教育活動を享受できるよう学校運営の改善、教育水準の向上と保障を図る。

なお、表・グラフの平均値はA4点、B3点、C2点、D1点と数値化し、総和を回答者数で除して平均を出したものである。数値の見かけ上の平均値は2.5点なので、この数値を目安として各項目の評価を分析する。回答者数は26名、15項目の平均値は3.21（昨年3.22、一昨年は3.18）であった。

コロナウイルスにより、学校の教育活動が制限され、評価にも多少影響を受けた寛がある。

- 質問項目1は、3.1(H30)→3.2(R1)→3.4(R2)
質問項目2は、3.5(H30)→3.5(R1)→3.5(R2)
項目1は、評価が年々上昇、項目2は変わらず高い評価である。
教育目標への意識は浸透しており、その達成に向けた教育実践を積み重ねていくことが望まれる。
- 質問項目4は、3.5(H30)→3.7(R1)→3.5(R2)
質問項目6は、3.2(H30)→3.2(R1)→2.9(R2)
コロナウイルスによる学校閉鎖の影響も少なからずあったようで、不登校生徒の増加及びSNSによるいじめが増加した。不登校については、サポート委員会が機能し、早期の対策が功を奏している。また、いじめについては、アンケートやネットパトロール等により早期に対応したことが高い評価に繋がっている。
また項目6の教育相談については、昨年より大幅に評価が下がった。スクールカウンセラーや保健室での相談体制は整っているが、利用の促進を図るとともに、カウンセリングに関する教職員のスキルアップが必要か。
- 質問項目3は、3.1(H30)→3.2(R1)→3.2(R2)
質問項目7は、3.1(H30)→3.1(R1)→3.2(R2)
項目3は昨年と同じ評価だが、96%の教職員がB評価以上であり、概ね共通理解のもとに生徒指導に当たっている。項目7は0.1ポイント増だが、C評価が15%おり、今後も個々の生徒の理解に努め、指導に当たらねばならない。
- 質問項目5は、2.8(H30)→2.8(R1)→3.0(R2)
進路指導については、評価は高くはないが昨年より0.2ポイント増となった。生徒向け、教職員向けの進路だよりの発行、進路に関する校内研修計画が評価されたと思われる。
今後も計画的な進路指導、生徒・保護者や教職員への進路情報の定期的な提供などをきめ細かに実施し、さらに多様なニーズに応える必要がある。
- 質問項目8は、3.3(H30)→3.3(R1)→3.1(R2)
質問項目9は、3.2(H30)→3.2(R1)→3.1(R2)
職員研修については、授業公開、今年度入学生の各コース別進路指導計画等の作成の研修会、「生徒理解」に関する講演会、ICT研修会を実施した。昨年と比較して質問項目8は0.2、項目9で0.1ポイント下降した。
今年度から新入生にタブレットを持たせていることもあり、ICTに関する研修が足りなかったことがこの評価になったように思われる。次年度以降、研究授業を含め、ICT研修の充実度を高めていくことが求められる。

○ 質問項目 10 は、3. 2 (H30)→3. 3 (R 1)→3. 3 (R 2)

質問項目 11 は、3. 0 (H30)→3. 0 (R 1)→3. 3 (R 2)

教職員間の連携については、昨年に比べ項目 10 は変わらず高評価であり、項目 11 が 0.3 ポイント上昇した。4 月 5 月の休校中に分掌や委員会の打合せを積極的に行い、学校再開後も継続的に分掌・委員会等の打合せを行った結果と思われる。次年度も引き続きこの姿勢を維持していきたい。

○ 質問項目 12 は、3. 4 (H30)→3. 5 (R 1)→3. 3 (R 2)

質問項目 13 は、3. 3 (H30)→3. 4 (R 1)→3. 3 (R 2)

施設等の安全点検は事務方を始め教職員全員が日々行っているので項目 12 は高評価である。今後も継続していきたいものである。

また、項目 13 は C, D 評価が 20% 近くあり 0.1 ポイント下降した。職員室・事務室の連携、及び外部との対応について、再度連携等の確認を要する。

○ 質問項目 14 は、3. 1 (H30)→2. 9 (R 1)→3. 1 (R 2)

質問項目 15 は、2. 9 (H30)→3. 1 (R 1)→3. 0 (R 2)

項目 14 は昨年より 0.2 ポイント増加した。今年度はコロナウイルスのことで、様々な連絡をきめ細かに行ったこと、ホームページに頻繁に記事を掲載したことなどが評価されたと思われる。次年度もより一層取り組みを進めたいものである。

項目 15 は昨年比 0.1 ポイント減少、コロナウイルスの影響で外部や関係機関との連携がなかなか難しかったこの評価となった。

令和2年度 学校評価（父母の会役員・育成会役員・同窓会役員）

毎年、本校の教育活動を見る機会の多い方々に評価をしていただいているが、今年度はコロナウィルスの影響で教育活動が制限され、加えて保護者や関係者の方々が教育活動を観る機会も失われた中での評価であった。

10項目の評価平均は3.40で、決して低くはないが昨年比0.17ポイント下がっている。

（昨年が3.57、一昨年は3.29）

また、3カ年の各項目の評価は次のとおりである。

質問項目 1は、3.4(H30)→3.8(R1)→3.5(R2)
質問項目 2は、3.4(H30)→3.6(R1)→3.4(R2)
質問項目 3は、3.4(H30)→3.5(R1)→3.5(R2)
質問項目 4は、3.1(H30)→3.4(R1)→3.4(R2)
質問項目 5は、3.1(H30)→3.5(R1)→3.3(R2)
質問項目 6は、3.3(H30)→3.5(R1)→3.2(R2)
質問項目 7は、3.5(H30)→3.7(R1)→3.5(R2)
質問項目 8は、3.3(H30)→3.5(R1)→3.3(R2)
質問項目 9は、3.2(H30)→3.6(R1)→3.5(R2)
質問項目 10は、3.2(H30)→3.5(R1)→3.4(R2)

8項目で0.1～0.3ポイント昨年より下降している。

特に、項目1「学校は、生徒が基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導に努めているか」と項目6の「学校は、生徒が生き生きと学校生活を送るよう努めているか」は0.3ポイントと下降が著しかった。また、項目2「学校は、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう努めているか」も0.2ポイント減少だった。

4月、5月の学校閉鎖の影響が大きく、学校再開後は授業の確保が優先され、各種行事や部活動の大会の休止や縮小もあり、生徒が生き生きと学校生活を送る環境が失われたことが大きな要因と考えられる。コロナウィルスは終息しておらず、次年度も同じ状況が続くと思われ、限られた条件の中で生徒の生き生きとした活動ができるよう教育課程の工夫が必要である。

項目7「学校は、保護者の相談に対して誠実に対応するよう努めているか」は、評価平均3.5と高い評価を得ているが、昨年より0.2ポイント下降。コロナ渦の中、不登校気味の生徒が増加しており、保護者懇談や教育相談等でのきめ細かな対応が一層求められ、信頼を得ていかねばならない。

項目5「教員は、生徒が生き生きと授業に取り組み、集中できるよう指導の充実に努めているか」は、昨年比0.2ポイント下降しているが、生徒の学習意欲を引き出し、意欲的に取り組む授業を目指し今後も研鑽に努める必要がある。加えて、今年度の1年生よりタブレットを授業で使用することとなり、有効活用できるよう研鑽を深めねばならない。

総体的に評価は高いが、そのことに甘んじることなく、日々の教育活動を振り返り、反省と新たな実践をしながら、生徒や保護者、地域から信頼される教育活動を推進していかねばならない。

令和2年度 外部による学校評価

令和3年5月28日

教職員による学校評価および父母の会・育成会・同窓会による学校評価の二つの評価について、それが適切であるかどうかを本校を外から見ていただいている方々に評価していただいた。

4名の方々に評価していただいたが、概ね適切とのことであった。その中で、いくつかご意見をいただいたので記載する。

- 学校評価結果はB評価以上で、教職員や保護者・育成会等が同様の理解のもとに学校経営を実施していると思う。コロナ終息後を見据えて今後の教育活動に邁進してほしい。
- コロナ禍という困難の中、制約の多い1年間で勤務する教職員の方々には大変な年であったと深く感じ、感謝します。
- 高校生活は生徒にとって、世の中に出ていくための社会性を養う大事な時期である。その大事な時間を有意義なものにするよう尽力していただきたい。
- コロナ禍において、全体的に高い評価を得ているということは、教育活動は充実している証拠であり、今後も継続していただきたい。
- 「不登校・いじめに関する対応」は、高評価だが、サポート委員会の活動状況が示されていないので、活動内容を明確にしてはどうか。